



SoftBank

上場記者会見

時代を先取りした革新的サービスを提供

事業基盤の拡大

LINE MOBILE

eAccess
Broadband services

WILLCOM

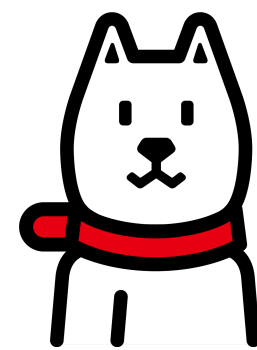


日本テレコム



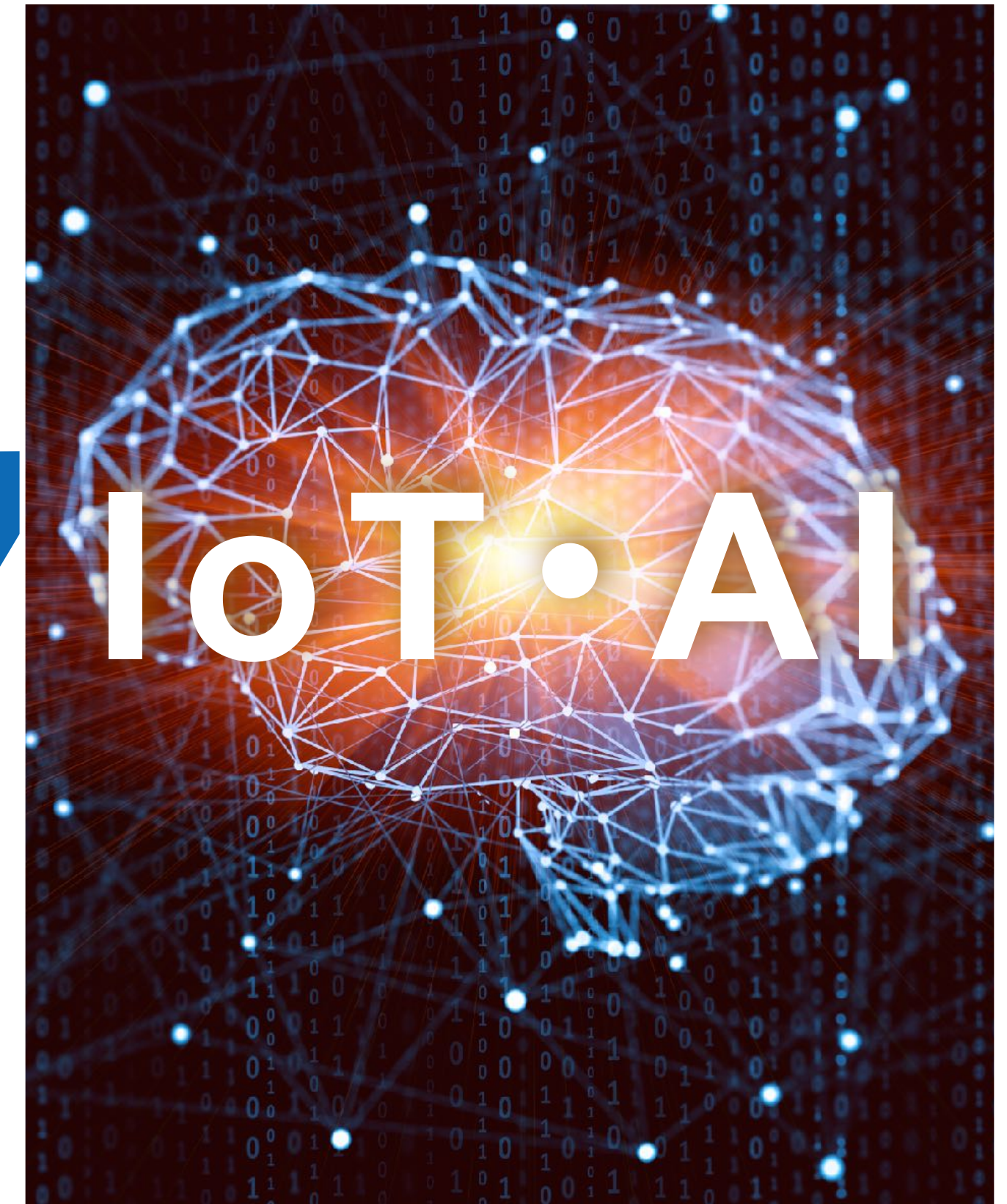
Y!mobile

ギガモンスター
クイラ
ギガモンスター50
クイラギガモンスター+



YAHOO! JAPAN BB
Broadband

革新的なサービス

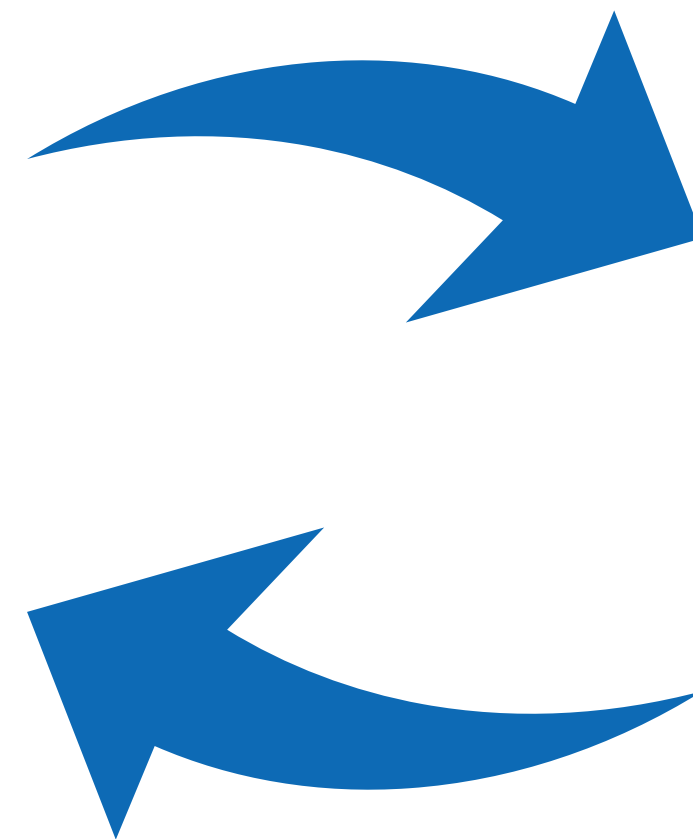


SOFT BANK



「Beyond Carrier」 戦略

顧客基盤の拡大



新規事業の創出



通信事業、新規事業の両輪でさらなる成長へ

ソフトバンクグループの投資先と連携した

新規事業

AI



ビッグデータ



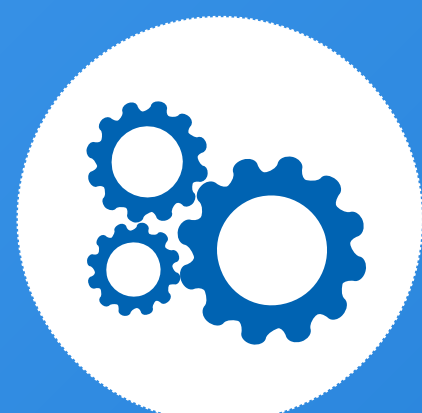
IoT



通信事業



スマホ契約数の拡大



オペレーション効率化



付加価値の提供



5Gを含めた効率的な
ネットワーク構築・運用

通信事業の基盤をさらに強化

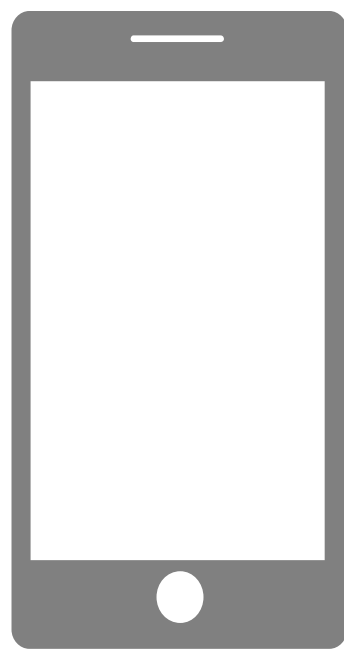
①マルチブランド戦略

SoftBank

Y!mobile

LINE MOBILE

②新たな魅力の提供



大容量データプラン

クーポン特典

セット割引

③ヤフー連携による差別化

SoftBank

YAHOO!
JAPAN



SoftBank 5G

高密度な基地局網

全国約23万カ所*



5Gではより狭間隔の
基地局が必要なため優位

Massive MIMO



1基地局あたり
最大128本のアンテナ

混雑する場所でも
より快適な通信を実現

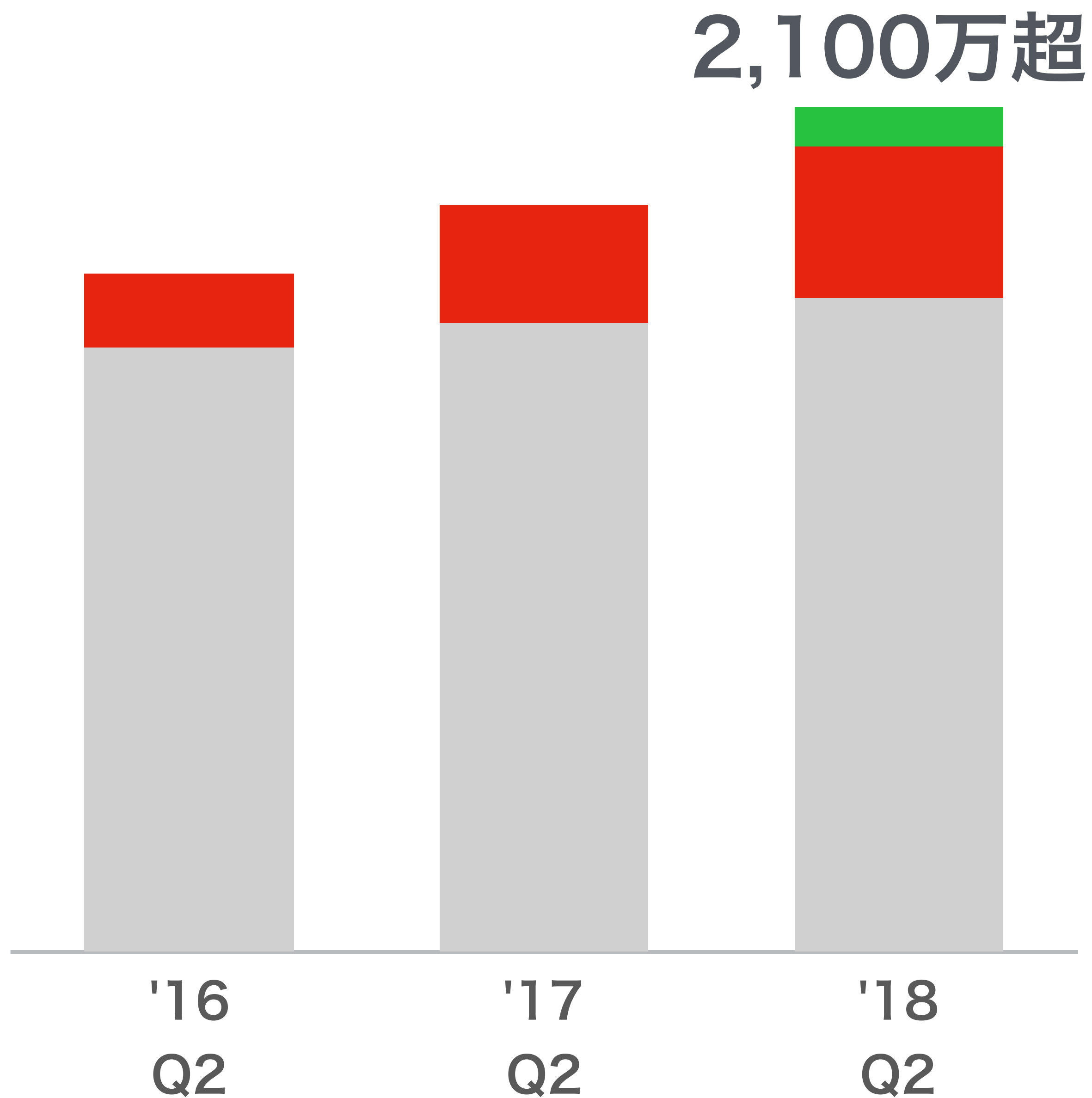
実証実験



さまざまな企業と一緒に
実証実験を開始

* 2018年8月時点

スマホ累計契約数



順調に増加

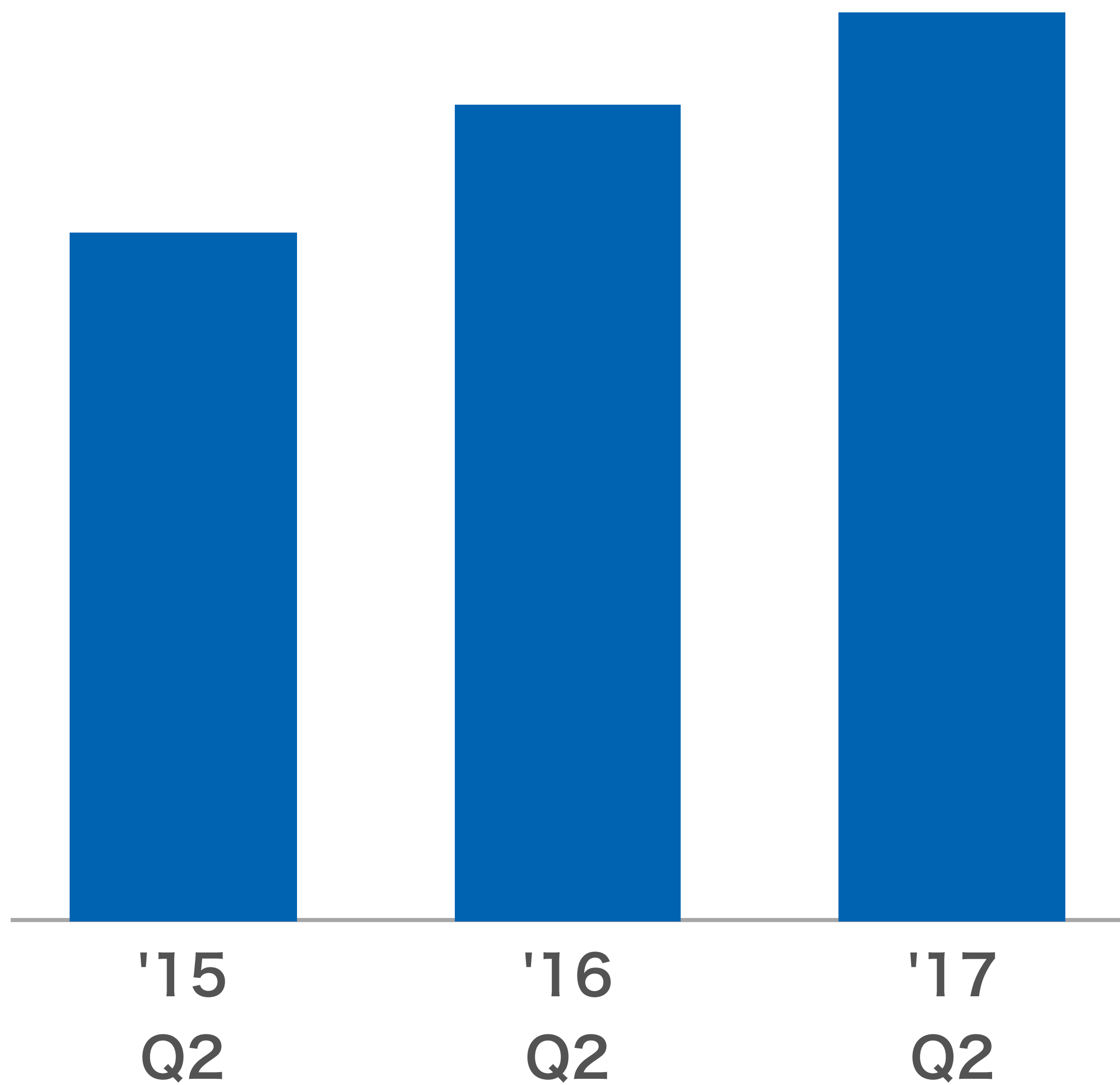
LINE MOBILE

Y!mobile

SoftBank

ブロードバンド契約数

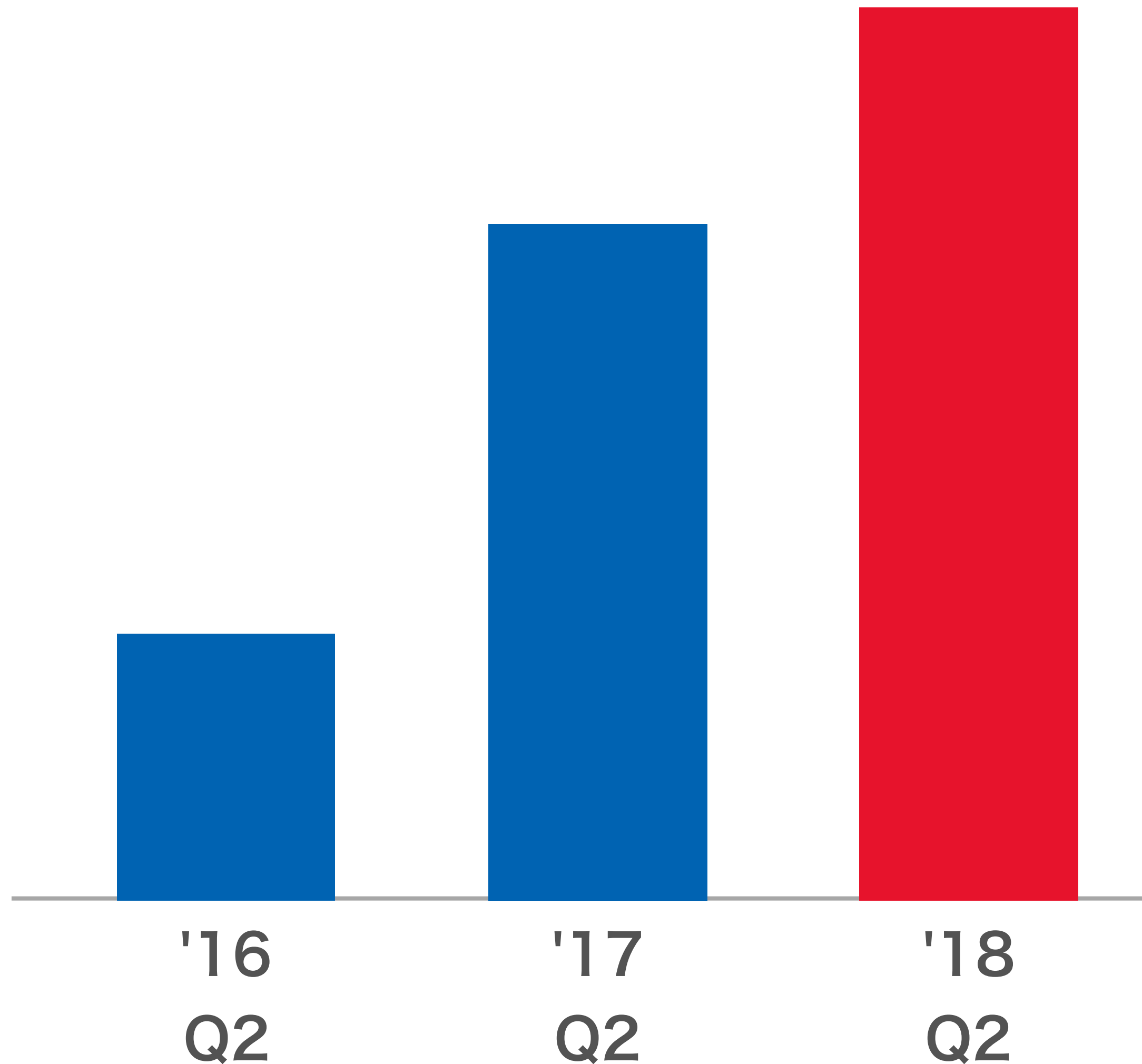
700万超



「SoftBank 光」
を中心に増加

ヤフーID連携数

1,300万超



ヤフーとの協業で 基盤拡大

＝ SoftBank

YAHOO!
JAPAN

※ 「SoftBank」「Y!mobile」のスマートフォンなどを利用して「Yahoo! JAPAN」とID連携した数の合計

日本企業にさまざまなICTソリューションを提供



法人事業は
大企業の
※
94% と取引

最先端ビジネスモデルを日本で展開

SoftBank

日本における
インキュベーター

+

ソフトバンクグループ
の投資先 など

最先端ビジネスモデル

ソフトバンクのプラットフォームを活用

モバイル契約数
約4,265万件^{*1}

大企業の
94%^{*2}と取引あり

営業 約16,000人^{*3}
エンジニア 約5,000人

店舗数
約6,000店^{*4}

事業プラットフォーム
ネットワーク、IT、
課金システムなど

※1 2018年3月時点の主要回線（スマートフォン、従来型携帯電話、タブレット、モバイルデータ通信端末、「おうちのでんわ」等を含む）、通信モジュール等、PHSを含む

※2 売上高1,000億円以上の上場企業948社のうち、当社と取引を有する企業890社の割合の概数であり、2018年3月時点

※3 2018年3月時点、正社員以外を含む。

※4 2018年9月時点の直営店、代理店、量販店、併売店を含む店舗数

新領域での成長戦略を推進

AI



ロボット



シェアリング



IoT



FinTech



セキュリティ



クラウド



その他





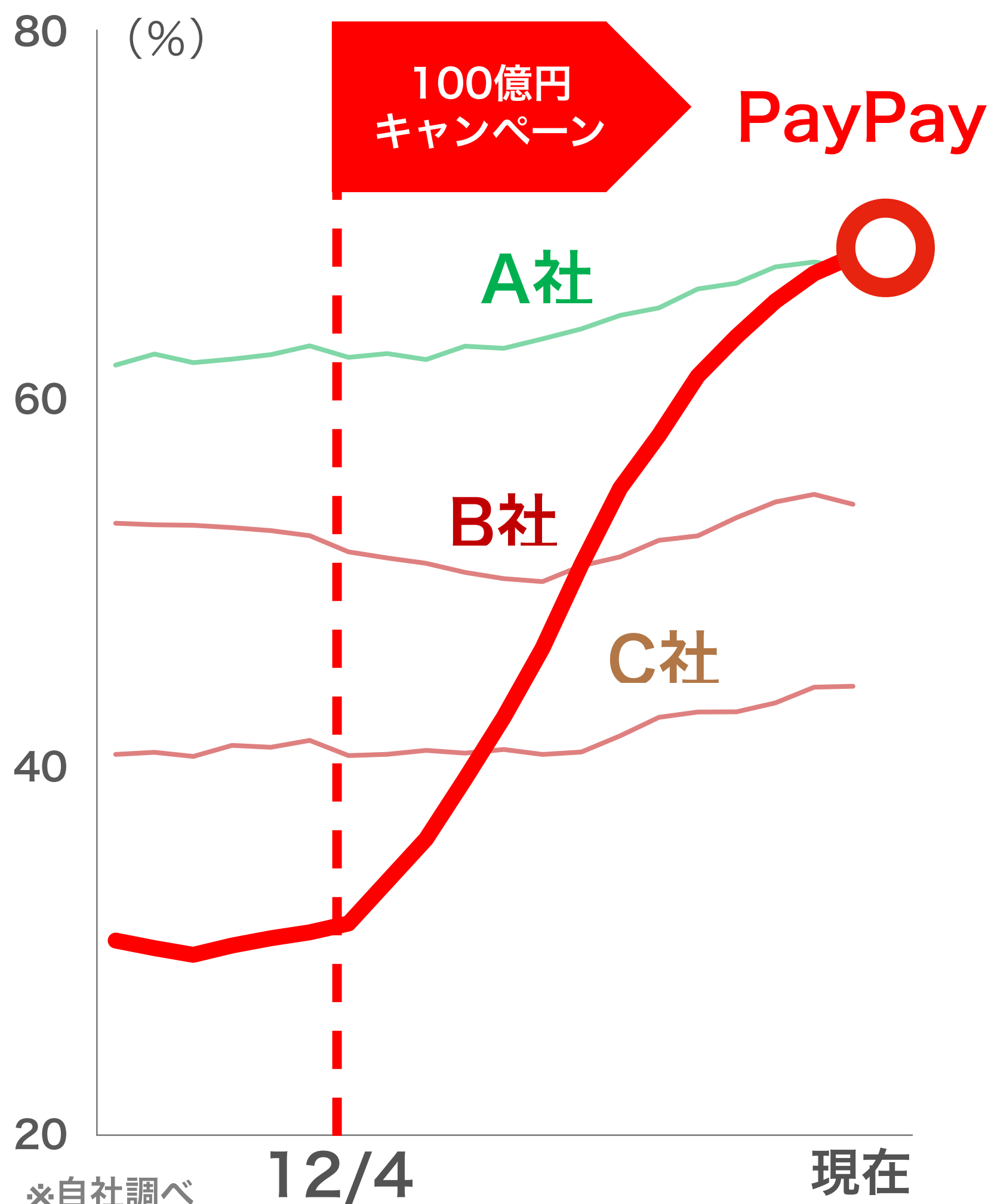
ヤフーと共同出資の決済サービス



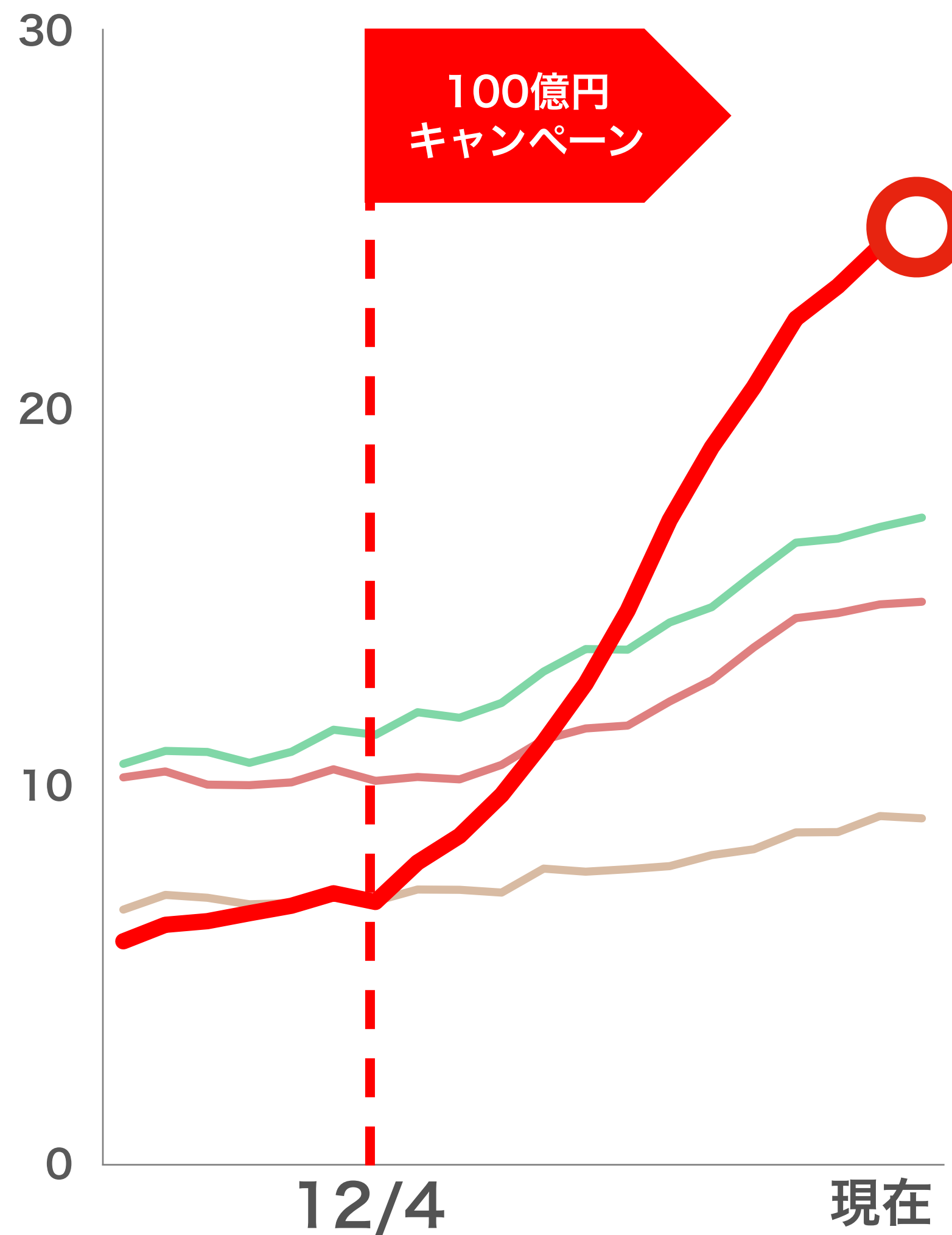
100億円キャンペーン
10日間で終了

QRコード決済サービスの比較

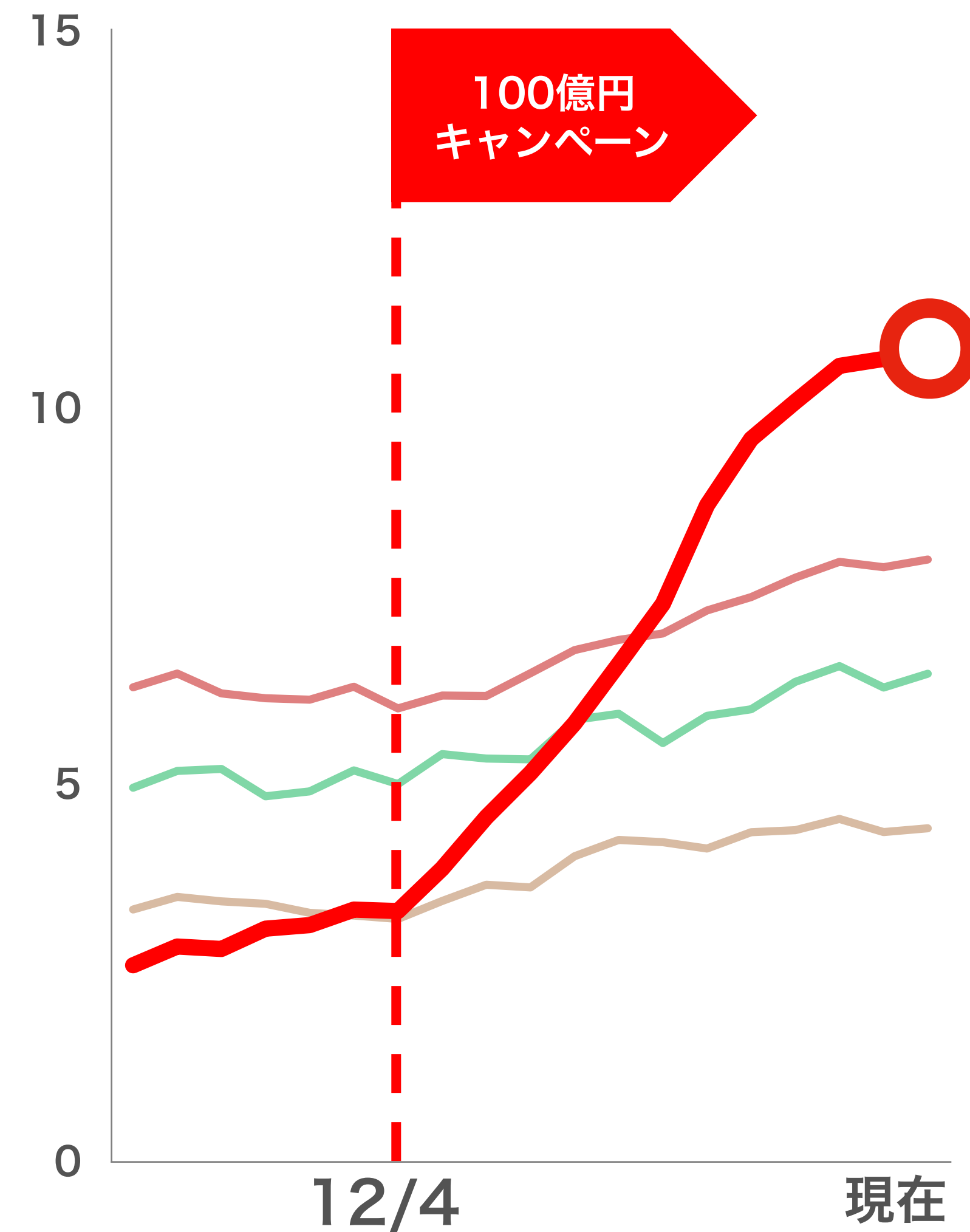
名称認知 No.1



サービス理解 No.1



利用意向 No.1





最先端ワークスペース

wework

世界最速のスピードで

国内展開中

幅広いユーザーの需要を喚起

12,800席

東京	神奈川
大阪	福岡

2019年は
2倍のスピードで
拠点開設予定

2018年
2月

2018年
12月

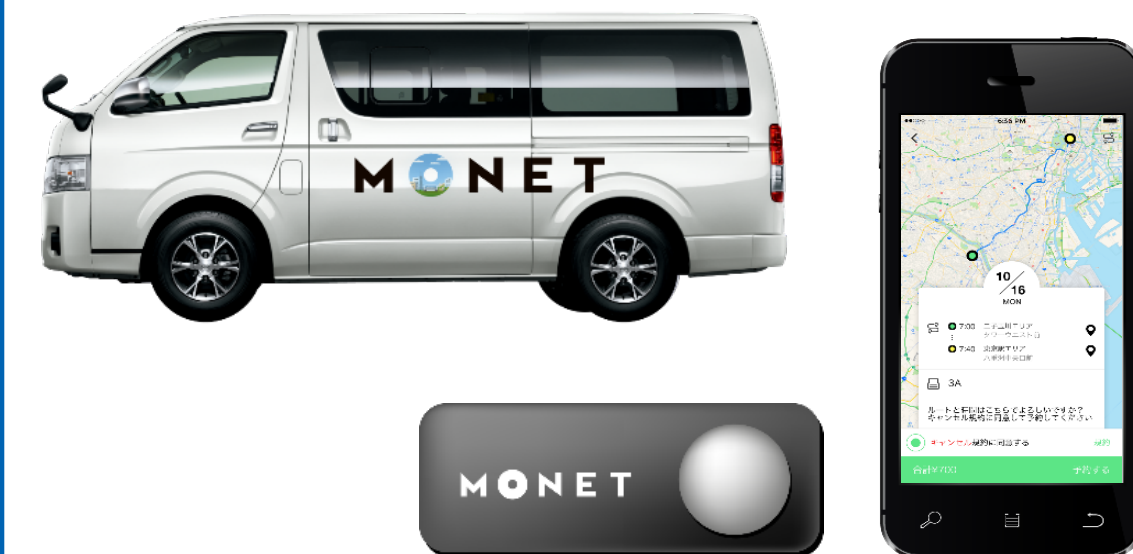
トヨタと新しいモビリティサービスを創造

M O N E T

2018年度内に事業開始予定

SoftBank

TOYOTA



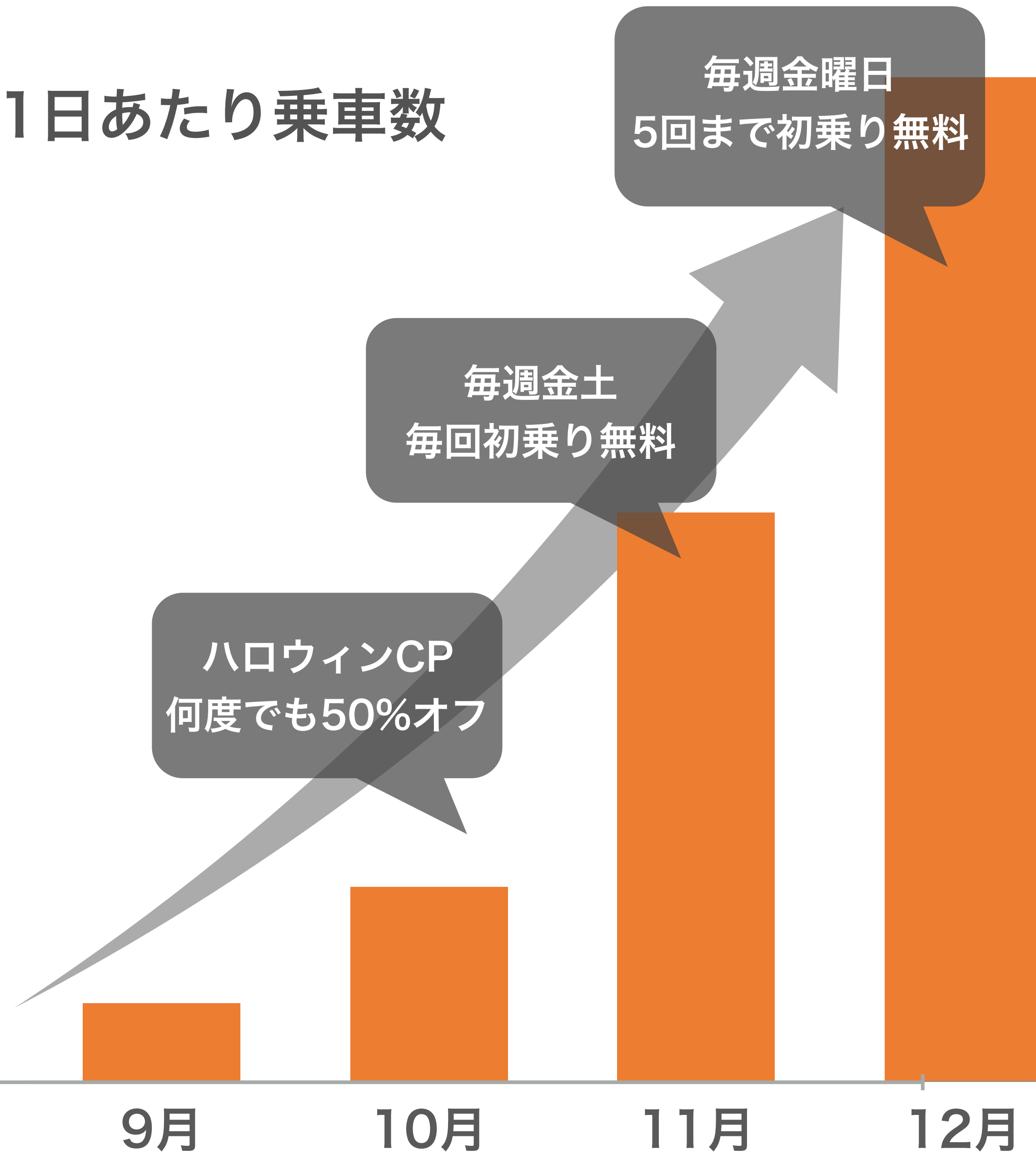


タクシー配車プラットフォーム



膨大な交通データで
AIが需要予測し
タクシーと乗客をマッチング

1日あたり乗車数



1日あたり乗車数

3カ月で13倍



※ 期間：9/27~12/16

業績予想

(億円)

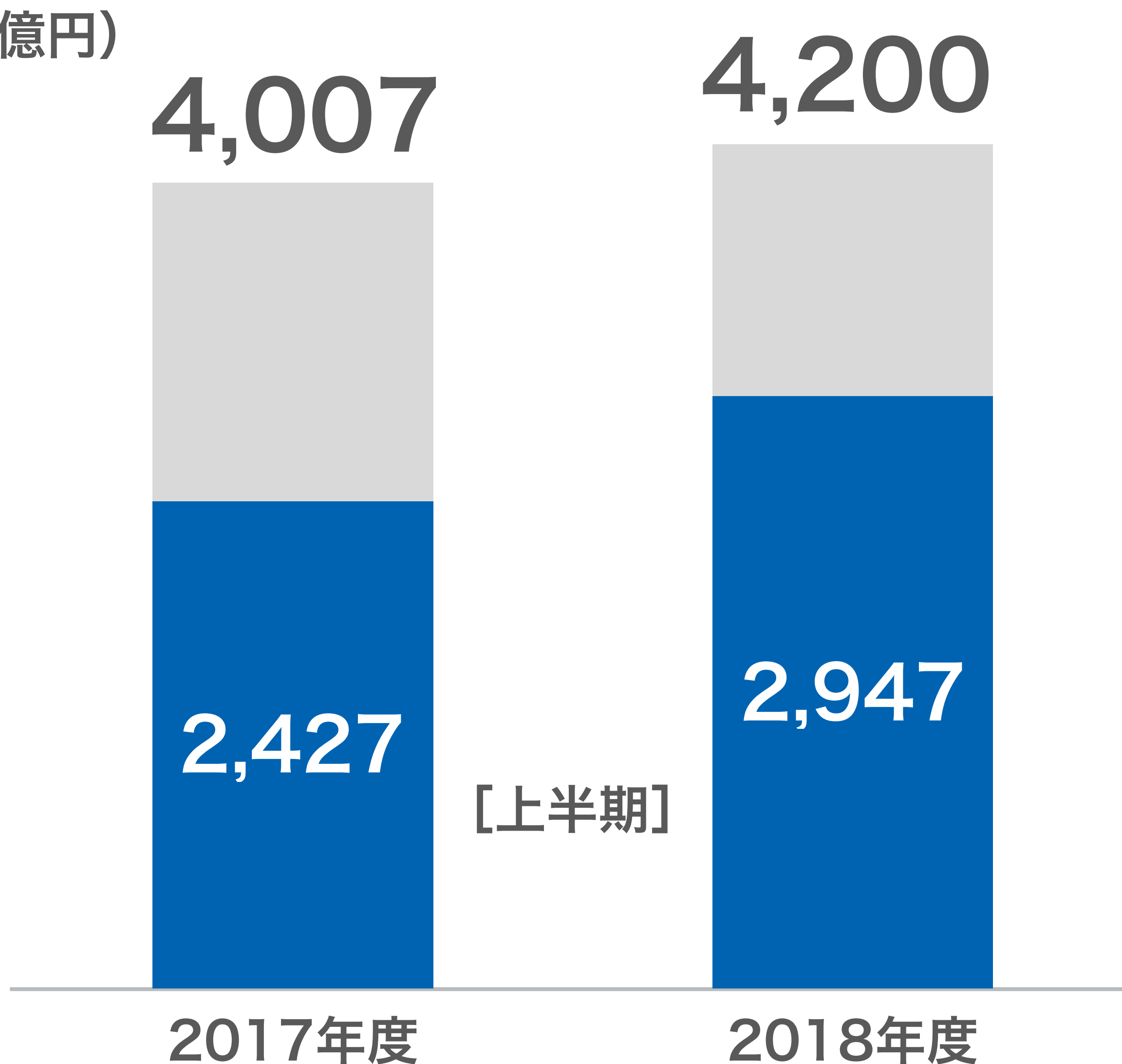
	2017年度 実績	2018年度 見通し
売上高	35,826	37,000
営業利益	6,379	7,000
純利益	4,007	4,200

2018年度
増収増益見通し

純利益：親会社の所有者に帰属する調整後純利益

純利益

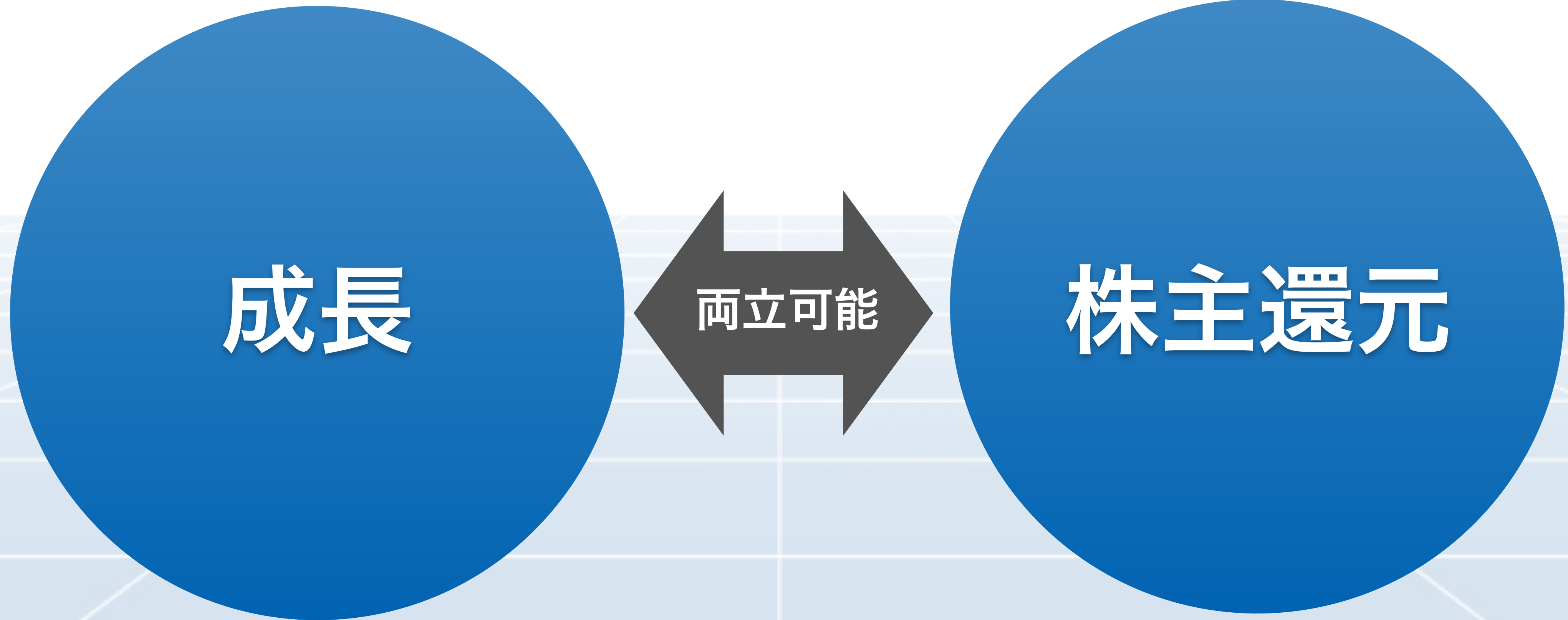
(億円)



順調に推移

進捗率70%

配当性向85%



1 自律的・機動的な経営を加速

2 通信事業の効率化、成長領域へのシフト

3 連結配当性向85%



情報革命で人々を幸せに



発表資料や発言内容（当社公式アカウントからのツイートを含む）など、中継に含まれる計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本発表資料や発言内容（当社公式アカウントからのツイートを含む）など中継に含まれる当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。中継内容のみに基づいて投資判断をすることはお控えください。

この資料などは予定されている当社普通株式の上場に伴う株式売出しに関して一般に公表するためのものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

投資を行う際は、必ず当社が作成する「株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いします。「株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。

また、米国における証券の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行う又は登録の免除を受ける場合を除き、米国内において証券の募集又は販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。目論見書は、当該証券の発行会社又は売出人より入手することができますが、これには、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。